

① 研究課題名：

前立腺癌手術後生化学的再発*1例に対する救済放射線治療の多施設後ろ向き観察研究

*1：生化学的再発：前立腺癌腫瘍マーカーであるPSAの上昇による再発

② 研究の目的：

前立腺癌に対する前立腺全摘術後に、生化学的再発をきたした方に対する救済放射線治療の治療成績データが少ないことから、診療情報を収集することにより、救済放射線治療の有効性（生化学的無再発割合*2、臨床的無再発割合*3、全生存率）及び安全性（有害事象（副作用））について現状を把握することを目的としています。

*2：救済放射線治療後のPSAが0.20ng/mL以上にならなかった割合

*3：救済放射線治療後に、骨転移など再発をきたさなかった割合

③ 研究期間：西暦 2018年 12月 ～ 2019年 12月 31日

④ 研究代表者及び研究実施施設一覧

研究責任者：名古屋市立大学大学院医学研究科放射線医学分野 富田 夏夫

研究実施施設：刈谷豊田記念病院、名古屋市立西部医療センター、JCHO 中京病院、岡崎市民病院、成田記念病院、春日井市民病院、一宮市民病院、鈴鹿中央総合病院、北斗病院、名古屋医療センター、江南厚生病院、名古屋第二赤十字病院、藤枝平成記念病院、南部徳州会病院、相澤病院

⑤ 研究の対象：

2011年5月1日から2017年12月31日までの間に、前立腺癌手術後に、生化学的再発(PSA 0.20 ng/mL 以上)をきたし、救済放射線治療を施行した方。かつ救済放射線治療前、明らかな遠隔転移（他臓器転移）を認めなかった方。

⑥ 調査項目：

- ・基本情報：生年月日、年齢、手術前 PSA 値
- ・手術時所見：手術日、病理学的悪性度、リンパ節転移の有無、術後 PSA 値
- ・救済放射線治療に関する情報：放射線治療開始日、終了日、照射線量
- ・その他：ホルモン療法治療歴、転帰（2017年12月31日時点）、有害事象など

⑦ 研究の方法：

担当医師が上記調査項目について、あなたの診療録から情報を収集して電子データとして「調査票」に入力し、DVD に取りまとめた後、研究事務局（名古屋市立大学大学院放射線医学分野 富田夏夫）宛に郵送にて提供されます。提供されたデータは集計され、その結果は論文等で公表されます。

⑧ 研究成果の公開

得られた集計結果は、論文等で公表されます。

⑨ 個人情報の保護

あなたのカルテ番号とは異なる新たな番号を付番し、その番号を用いて登録されます。このため、個人情報が外部に漏れることはありません。

この研究に参加されたくない（あなたのデータを使ってほしくない）場合は、医療者にその旨を

お伝えください。

⑩ 利益相反

本研究の計画・実施・発表に関して可能性のある利益相反はありません。

⑪ 問い合わせ先

研究事務局	診療科	研究責任者
名古屋市立西部医療センター 住所：〒462-8508 愛知県名古屋市北区平手町1-1-1	放射線治療科	馬場 二三八 TEL：052-991-8121（代表）